

## 【資料3】

### 令和4年度練馬区幼保小連携に関する実態調査について

#### <目的>

・練馬区における幼保小連携の現状、意識について把握し、「練馬区における幼保小連携の推進について」等改定の検討資料等として利用する。

#### 1 アンケート調査対象（回答者：校長又は副校長、園長又は副園長）

区立小学校 65 校、区立幼稚園 3 園、区立保育所 60 園、  
私立幼稚園 38 園、私立保育所 131 園、認証保育所 17 園

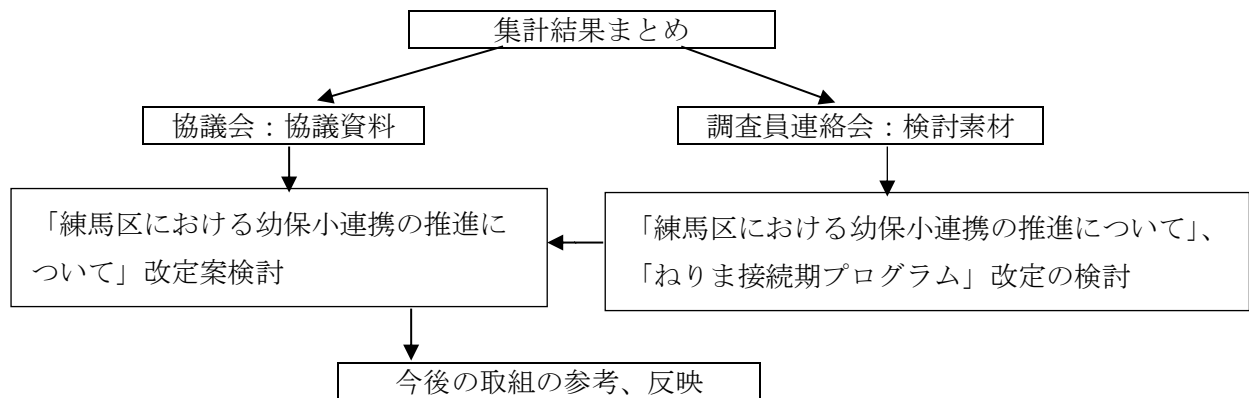
※私立保育所は分園（5 園）を除く

対象施設数 314

#### 2 設問内容

- ① 取組の現状と幼保小連携推進に対する意識
  - ・幼児と児童に係る取組（4 問）
  - ・幼稚園教員・保育士と小学校教師に係る取組（4 問）
  - ・幼保小連携に係る取組全般について（1 問）
- ② 接続期プログラムの編成について
  - ・カリキュラムの編成について（2 問）
- ③ 既存の刊行物の認知度・活用状況
  - ・ねりま接続期プログラム（3 問）
- ④ 教育委員会に対する要望の把握
  - ・取組を円滑に実施するために教育委員会に望むこと（1 問）

#### 3 アンケートの活用方法



#### 4 スケジュール（予定）

- ・9 月中～下旬 各園（校）にアンケート依頼、
- ・10 月中旬 アンケート回答〆切
- ・10 月下旬 アンケートの結果集計
- ・11/8 調査員連絡会結果報告
- ・1 月 協議会結果報告
- ・2 月 各園（校）にアンケート集計結果送付

# ☆ フォーム詳細 - 令和4年度練馬区幼保小連携に関する実態調査（幼保対象）

質問項目設定

基本情報設定

高度な設定

権限設定

動作確認



## 区立小学校との連携に関する実態調査

項目ID: 22

今回の調査結果は、統計処理を行う上でのみ使用するため、個別の園名については公表いたしません。ぜひ、各園の現状について率直にお答えいただきますようお願いいたします。

<この調査で使用する用語>

園・・・幼稚園、保育所（園）、認定こども園の総称

## Q1. 園名、回答者の職名、氏名をご記載ください

項目ID: 1

必須

園名：

0 / 60000

項目ID: 2

職名

0 / 60000

項目ID: 3

氏名

氏 必須

名 必須

0 / 64

0 / 64

## Q2. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

令和3年度中に幼児と小学校の児童の交流活動を実施しましたか。

必須

項目ID: 24

- 実施した（学校からのDVDの視聴やオンラインでの間接的な交流を含む） →Q3へ
- 特に交流の計画は無く、実施しなかった →Q4へ
- 計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため実施できなかった →Q5へ

## Q3. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

Q2で「実施した」を選択した方にお伺いします。

下記の取組例の中で、令和3年度中に実施した交流活動を教えてください。（あてはまるものすべて）

必須

- 幼児と児童と一緒に遊ぶ
- 学芸会等の文化的行事見学
- 運動会等の体育的行事見学
- 授業の見学
- 小学校校内の探検
- 小学校で使うもの（ランドセル等）の体験
- 校庭・体育館等の利用
- 児童が書いた手紙や折り紙、手作りおもちゃを教員等からもらう
- 学校生活の様子を録画、DVD等をもらい、園で幼児と視聴する
- 学校生活等について児童が書いた模造紙をもらい、園で掲示する
- Zoom等オンラインにて幼児と児童が交流する
- その他

#### Q4. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

Q2で「特に交流の計画は無く、実施しなかった」を選択した方にお伺いします。  
令和3年度中に実施しなかった理由を教えてください。（あてあまるものすべて）

必須

項目ID: 5

必須

- 年度計画に組み込まれていない
- 時間がない
- 交流の方法が分からない
- 小学校と日程が合わない
- 進学先の小学校が複数ある
- 園児と児童の人数の差が大きい
- 連絡の取り方が分からない
- 立地的に離れている
- 5歳児が園にいないため

- 新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが不明だったため
- その他

### Q5. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いた後に実施したい交流活動を教えてください。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 25

- 幼児と児童と一緒に遊ぶ
- 学芸会等の文化的行事見学
- 運動会等の体育的行事見学
- 授業の見学
- 小学校校内の探検
- 小学校で使うもの（ランドセル等）の体験
- 校庭・体育館等の利用
- 児童が書いた手紙や折り紙、手作りおもちゃを教員等からもらう
- 学校生活の様子を録画、DVD等をもらい、園で幼児と視聴する
- 学校生活等について児童が書いた模造紙をもらい、園で掲示する
- Zoom等オンラインにて幼児と児童が交流する
- その他

### Q6. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

令和3年度中に幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携の取組を実施しましたか。

**必須**

項目ID: 26

- 実施した（オンラインでの実施を含む） →Q7へ
- 特に計画は無く、実施しなかった →Q8へ
- 計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため実施できなかった →Q9へ

### Q7. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

**Q6で「実施した」を選択した方にお伺いします。**

**下記の取組例の中で、令和3年度中に実施した取組を教えてください。（あてはまるものすべて）** **必須**

項目ID: 7

- 幼児・児童の状況についての情報交換（電話、オンラインでの実施を含む）
- 学芸会等の文化的行事見学
- 運動会等の体育的行事見学
- 小学校の授業参観
- 小学校教員の保育参観・体験受け入れ
- 研修会・研究会等への参加（オンラインでの実施を含む）
- 学校と協同して、学校での学びを意識した指導計画等の編成（オンラインでの実施を含む）
- 5歳児、小学1年生担任による教育内容等についての懇談会（オンラインでの実施を含む）
- その他

#### **Q8. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>**

**Q6で「特に計画は無く、実施しなかった」を選択した方にお伺いします。取組を実施しなかった要因を挙げてください。（あてはまるものすべて）** **必須**

項目ID: 8

- 年度計画に組み込まれていない
- 時間がない
- 交流の方法が分からない
- 日程が合わない
- 進学先の小学校が複数ある
- 園児と児童の数の差が大きい
- 連絡の取り方が分からない
- 立地的に離れている
- 5歳児が園にいないため
- 新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが不明だったため
- その他

### Q9. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

今後実施、継続したい取組はありますか。（あてはまるものすべて）

必須

項目ID: 9

- 幼児・児童の状況についての情報交換
- 学芸会等の文化的行事見学
- 運動会等の体育的行事見学
- 小学校の授業参観
- 小学校教員の保育参観・体験受け入れ
- 入学式（卒業式）参加
- 校長等を招いて保護者への講話を行う
- 園で行う入園式・修了式・周年行事等への参加依頼
- 研修会・研究会等への参加
- 学校と協同して、学校での学びを意識した指導計画の編成
- 5歳児、小学1年生担任による教育内容等についての懇談会
- 特になし
- その他

### Q10. <指導計画の編成>

貴園において、5歳児の指導計画は、幼児期の育ちや学びが小学校の生活や学習へつながるように工夫しながら編成していますか。

必須

項目ID: 10

- している →Q11へ進む  していない →Q12へ進む

### Q11. Q10で「している」を選択した方にお伺いします。

令和4年度の指導計画を編成する際、参考にしたものはありますか。（あてはまるものすべて）

必須

項目ID: 11

- 保育所保育指針解説

- 幼稚園教育要領解説
- 就学前教育カリキュラム改訂版—新幼稚園教育要領対応等リーフレット—
- 就学前教育カリキュラム改訂版ハンドブック—新幼稚園教育要領対応等対応—
- ねりま接続期プログラム～子どもの育ちと学びをつなぐ～
- 幼保小連携研修会（練馬区主催）の内容
- 幼保小連携だより（教育施策課年4回程度発行）
- 幼児期までに育ててほしい10の姿
- 他園の事例
- 近隣校での学びの事例
- 特になし
- その他

#### Q12. <幼保小に係る取組全般について>

新型コロナウイルス感染症の流行により、幼保小連携の取組は行いづらい状況が続いていますが、幼保小連携の取組は今後さらに重要だと思いませんか。 **必須**

項目ID: 12

- そう思う  ややそう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

Q13. 幼保小連携に係る取組全般について、円滑に実施するために教育委員会に取り組んでほしいことはありますか。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 13

- 懇談会等の交流の場を増やしてほしい
- 幼保小連携研修会の充実
- 取組例や連携の仕方等の方針の提示
- 連携先との連絡・日程調整の仲介
- 小学校側の意識付けや環境作り
- 保育体験等、現場を知る体験の機会の設定
- 連携のモデル校（園）を指定

- 指導計画等編成のための事例紹介、支援
- 特になし
- その他

#### Q14. <「ねりま接続期プログラム」について>

項目ID: 17

「ねりま接続期プログラム」を読みましたか。 **必須**

- はい →Q15へ進む
- いいえ →Q16へ進む

#### Q15. <「ねりま接続期プログラム」について>

項目ID: 18

Q14で「はい」と答えた方にお伺いします。

良かったと思う項目、参考になった項目は何ですか。（あてはまるものすべて）

- I 0歳児～小学校1年生までの子どもの姿
- II 接続期の指導および家庭との連携のポイント
- III 年齢別実践例
- IV 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
- 特になし

項目ID: 19

改善してほしい点などがあればご記入ください。

例 「III 年齢別実践例」を増やしてほしい

0 / 60000

項目ID: 20

「ねりま接続期プログラム」をどのような場で活用していますか。またはどのような場で活用したいですか。（あてはまるものすべて）

- 指導計画・保育計画作成の参考資料として
- 交流・連携の取組作成の参考資料として
- 小学校教員との懇談会等の資料として
- 教員・保育士の研修資料として



その他

### Q16. <ねりま接続期プログラム>について>

Q14で「いいえ」と答えた方にお伺いします。

接続期プログラムを読んでいない理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

項目ID: 21

- 存在を知らなかった
- 読む時間がなかった
- 内容に対する関心が低かった
- 5歳児が園にいないため
- その他

アンケートは以上です。

項目ID: 23

ご協力をいただき、ありがとうございました。

〔問合せ先〕

練馬区教育委員会事務局 教育振興部 教育施策課

教育施策担当係 2 佐々木、萩原

電話（直通）03-5984-1290

（メール）ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp



### 幼稚園・保育所（園）との連携に関する実態調査

項目ID: 22

今回の調査結果は、統計処理を行う上でのみ使用するため、個別の校名については公表いたしません。ぜひ、各校の現状について率直にお答えいただきますようお願いいたします。

<この調査で使用する用語>

・園とは…幼稚園、保育所、認定こども園の総称

### Q1. 学校名、回答者の職名、氏名をご記載ください

項目ID: 1

必須

学校名:

0 / 60000

項目ID: 2

職名

0 / 60000

項目ID: 3

氏名

氏 必須

0 / 64

名 必須

0 / 64

### Q2. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

項目ID: 26

令和3年度中に幼児と小学校の児童の交流活動を実施しましたか。 必須

- 実施した（学校の様子を録画したDVDを園に届けたり、オンラインでの間接的な交流を含む） →Q3へ
- 特に交流の計画は無く、実施しなかった →Q4へ
- 計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため実施できなかった →Q5へ

### Q3. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

Q2で「実施した」を選択した方にお伺いします。

下記の取組例の中で、令和3年度中に実施した交流活動を教えてください。（あてはまるものすべて） 必須

項目ID: 4

- 幼児と児童が一緒に遊ぶ

- 学芸会等の文化的行事見学の受け入れ
- 運動会等の体育的行事見学の受け入れ
- 授業の見学の受け入れ
- 小学校校内の探検の受け入れ
- 小学校で使うもの（ランドセル等）の体験する機会の提供
- 校庭・体育館等の利用の受け入れ
- 児童が書いた手紙や折り紙、手作りおもちゃを教員等が園に届ける
- 学校生活の様子を録画、DVD等を作成し、園で幼児が視聴する
- 児童が学校生活の様子を模造紙に書き、園で掲示する
- Zoom等オンラインにて幼児と児童が交流する
- その他

#### Q4. <幼児と小学校の児童にかかる交流活動の取組について>

Q2で「特に交流の計画は無く、実施しなかった」を選択した方にお伺いします。  
令和3年度中に実施しなかった理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

必須

項目ID: 5

必須

- 年度計画に組み込まれていない
- 時間がない
- 交流の方法が分からない
- 園と日程が合わない
- 学区域内に園が複数ある
- 園児と児童の人数の差が大きい
- 連絡の取り方が分からない
- 立地的に離れている
- 新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが不明だったため
- その他

#### 05. <幼児と小学校の児童に係る交流活動の取組について>

新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いた後に実施したい交流活動を教えてください。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 6

- 幼児と児童と一緒に遊ぶ
- 学芸会等の文化的行事見学
- 運動会等の体育的行事見学
- 授業の見学
- 小学校校内の探検
- 小学校で使うもの（ランドセル等）の体験
- 校庭・体育館等の利用
- 児童が書いた手紙や折り紙、手作りおもちゃを教員等から園へ渡す
- 学校生活の様子を録画、DVD等を作成し、園で幼児に視聴してもらう
- 児童が学校生活の様子を模造紙に書き、園で掲示してもらう
- Zoom等オンラインにて幼児と児童が交流する
- その他

#### Q6. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

令和3年度中に幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携の取組を実施しましたか。

**必須**

項目ID: 27

- 実施した（オンラインでの実施を含む） →Q7へ
- 特に計画は無く、実施しなかった →Q8へ
- 計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため実施できなかった →Q9へ

#### Q7. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

Q6で「実施した」を選択した方にお伺いします。

下記の取組例の中で、令和3年度中に実施した取組を教えてください。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 7

- 幼児・児童の状況についての情報交換（電話、オンラインでの実施を含む）
- 学芸会等の文化的行事見学受け入れ

- 運動会等の体育的行事見学受け入れ
- 小学校の授業参観受け入れ
- 小学校教員の保育参観・体験
- 研修会・研究会等への参加（オンラインでの実施を含む）
- 園と協同して、園での学びを意識した指導計画等の編成（オンラインでの実施を含む）
- 5歳児、小学1年生担任による教育内容等についての懇談会（オンラインでの実施を含む）
- その他

### Q8. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

Q6で「特に計画は無く、実施しなかった」を選択した方にお伺いします。取組を実施しなかった要因を挙げてください。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 8

- 年度計画に組み込まれていない
- 時間がない
- 交流の方法が分からない
- 日程が合わない
- 学区域内に幼稚園・保育所（園）が複数ある
- 園児と児童の数の差が大きい
- 連絡の取り方が分からない
- 立地的に離れている
- 新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが不明だったため
- その他

### Q9. <幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について>

項目ID: 9

今後実施、継続したい取組はありますか。（あてはまるものすべて） **必須**

- 幼児・児童の状況についての情報交換
- 学芸会等の文化的行事見学受け入れ
- 運動会等の体育的行事見学受け入れ
- 小学校の授業参観受け入れ

- 小学校教員の保育参観・体験
- 入学式（卒業式）参加の受け入れ
- 校長等が園で保護者への講話を行う
- 園で行う入園式・修了式・周年行事等への参加
- 研修会・研究会等への参加
- 園と協同して、園での学びを意識したカリキュラムの編成
- 5歳児、小学1年生担任による教育内容等についての懇談会
- 特になし
- その他

### <スタートカリキュラムの編成について>

項目ID: 25

※スタートカリキュラムとは・・・小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として主体的に自己を発揮していくためのカリキュラム

### Q10. 貴校において、スタートカリキュラムを編成していますか。 **必須**

項目ID: 10

- はい →Q11へ進む  いいえ →Q12へ進む

### Q11. Q10で「はい」を選択した方にお伺いします。

令和4年度のスタートカリキュラムを編成する際、参考にしたものはありますか。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 11

- 教育課程編成資料(平成31年2月)
- 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説
- 発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き
- ねりま接続期プログラム～子どもの育ちと学びをつなぐ～
- 幼保小連携研修会（練馬区主催）の内容
- 幼保小連携だより（教育施策課年4回程度発行）
- 幼児期までに育ててほしい10の姿
- 他校の事例

- 近隣園での学びの事例
- 特になし
- その他

### Q12. <幼保小に係る取組全般について>

新型コロナウイルス感染症の流行により、幼保小連携の取組は行いづらい状況が続いていますが、幼保小連携の取組は今後さらに重要だと思えますか。 **必須**

項目ID: 12

- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

### Q13. 幼保小連携に係る取組全般について、円滑に実施するために教育委員会として取り組んでほしいことはありますか。（あてはまるものすべて） **必須**

項目ID: 13

- 懇談会等の交流の場を増やしてほしい
- 幼保小連携研修会の充実
- 取組例や連携の仕方等の方針の提示
- 連携先との連絡・日程調整の仲介
- 小学校側の意識付けや環境作り
- 保育体験等、現場を知る体験の機会の設定
- 連携のモデル校（園）を指定
- スタートカリキュラム編成のための事例紹介、支援
- 特になし
- その他

### Q14. <「ねりま接続期プログラム」について>

項目ID: 17

「ねりま接続期プログラム」を読みましたか。 **必須**

- はい →Q15へ進む
- いいえ →Q16へ進む

### Q15. <「ねりま接続期プログラム」について>

Q14で「はい」と答えた方にお伺いします。

良かったと思う項目、参考になった項目は何ですか。（あてはまるものすべて）

- I 0歳児～小学校1年生までの子どもの姿
- II 接続期の指導および家庭との連携のポイント
- III 年齢別実践例
- IV 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
- 特になし

項目ID: 19

改善してほしい点などがあればご記入ください。

例 「III 年齢別実践例」を増やしてほしい

0 / 60000

項目ID: 20

「ねりま接続期プログラム」をどのような場で活用していますか。またはどのような場で活用したいですか。（あてはまるものすべて）

- 指導計画、スタートカリキュラム等の振り返りの参考資料として
- 交流・連携の取組作成の参考資料として
- 園との懇談会等の資料として
- 教員・保育士の研修資料として
- その他

### Q16. <「ねりま接続期プログラム」について>

Q14で「いいえ」と答えた方にお伺いします。

接続期プログラムを読んでいない理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

項目ID: 21

- 存在を知らなかった
- 読む時間がなかった
- 内容に対する関心が低かった
- その他



**アンケートは以上です。**

**ご協力をいただき、ありがとうございました。**

〔問合せ先〕

練馬区教育委員会事務局 教育振興部 教育施策課

教育施策担当係 2 佐々木、萩原

電話（直通）03-5984-1290

（メール）ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp